



福井県 永平寺町

第37号

平成27年1月23日 発行

議会だより

かんばん団体

上志比子ども吟舞クラブ
(※ 最終ページに紹介記事)



事務事業評価意見書提出 ②ページ

そこが聞きたい! (議員17人が一般質問) ⑨ページ

議会と語ろう会 町民からの質問・要望等への回答 ②②ページ

永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>



事務事業評価 意見書を提出

議会では、自ら選出した12事務事業の平成25年度および26年度上半期における実績を、計数的、執行状況及び成果について審査し、27年度予算に反映させるための事務事業評価を行いました。

評価方法は、3つの項目（妥当性・効率性・有効性）及び総合評価をA～Dの4段階で評価し、次に次年度の方向性を事業規模と予算の面で意見します。

作業としては、行政から提出された事務事業評価シートを審

査し、各議員が「事務事業議会評価シート」を作成します。それらを取りまとめ、「議会評価意見書」として、行政に提出します。行政から新年度予算案に合わせて、3月定例会に「議会評価意見書」に対する「予算反映等改善書」が提出されます。

主な事業の評価意見は次のとおりです。



◆消防団永平寺中地区消防施設新築工事

平成20年に消防団再編計画を立てたが、再度住民及び消防団と相談し、再編計画及びそれに基づく施設・設備の更新計画の見直しが早急に必要である。

◆ICカード標準システム事業

このシステムの活用方法として、現在自動交付機があるが、カードの発行件数や利用件数、加入自治体など当初見込みと全く異なっている。コンビニ交付は、住民の利便性向上に有効な手段であり、推進すべきである。

◆社会福祉協議会活動補助金

社会福祉協議会が自ら事務事業評価を実施して、効果的、効率的な事業運営を求めていく必要がある。また、町においてしっかり監査・指導を行い、必要な補助額を今一度精査すべきである。

◆包括的支援事業委託料

要支援者、要介護者への支援体制や認知症の対応など、包括支援センターの役割が重要となってくる。住民の情報や先進地の情報を収集し、町の主体的な運営をどうするか、検討する必要がある。

◆給食費無償化補助金

導入時の付帯決議にあったとおり、財政への影響、効果、問題点を検証すべきである。

◆教育コンピュータ整備事業

機器更新時に、リースがいいか、買い取りがいいか、検討すべきである。また、機種についても、最新かつ児童教育に適するものを検討すべきである。

◆松岡公園整備事業

安全で安心して公園を利用できるよう安全対策が必要である。また、町民の意見を聞き利用しやすい施設にし、交流人口を拡大すべきである。



松岡公園

行政と議会の事務事業評価の比較表

事業名	評価区分	業務事業評価				平成27年度の方向性	
		妥当性	効率性	有効性	総合評価	事業の方向	予算(コスト)
防災行政無線整備工事	行政	A	A	A	A	現状維持	今年度並み
	議会	A	A	A	A	現状維持	今年度並み
えちぜん鉄道支援事業補助金	行政	A	A	A	A	現状維持	今年度並み
	議会	A	A	A	A	現状維持	今年度並み
本庁舎耐震補強工事	行政	A	A	A	A	終了・完了	終了・完了
	議会	A	A	A	A	終了・完了	終了・完了
社会資本整備総合交付金事業 (永平寺駅周辺整備事業)	行政	A	A	A	A	終了・完了	予算無し
	議会	A	A	A	A	終了・完了	予算無し
消防団永平寺中地区消防施設新築工事	行政	A	B	A	B	見直し	予算無し
	議会	A	B	A	B	改善が必要	予算要
ICカード標準システム事業	行政	B	B	A	B	現状維持	今年度並み
	議会	B	B	A	B	現状維持	今年度並み
町社会福祉協議会活動補助金	行政	A	B	A	B	現状維持	減額
	議会	A	B	A	B	現状維持	減額
包括的支援事業委託料	行政	A	B	A	B	見直し	増額
	議会	A	B	A	B	見直し	増額
給食費無償化補助金	行政	A	C	A	C	現状維持	今年度並み
	議会	A	B	A	C	現状維持	今年度並み
教育コンピュータ整備事業	行政	A	B	A	B	見直し	今年度並み
	議会	A	B	A	B	見直し	今年度並み
永平寺農商エブランド発信協議会補助金	行政	A	A	A	A	商工観光課で調整	予算無し
	議会	A	A	A	A	現状維持	今年度並み
松岡公園整備工事	行政	A	B	A	B	拡大	増額
	議会	B	B	A	B	見直し	今年度並み

A：計画どおり事業を進めることが適当
 B：事業の進め方等に改善が必要
 C：事業の統合、規定、内容、実施主体の見直しが必要
 D：事業の抜本的な見直し、民営化、休・廃止の検討が必要

平成26年 第6回 定例議会報告

平成26年第6回永平寺町議会定例会は、12月2日(火)～16日(火)まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。
議長 川崎 直文

第6回定例議会議案			議案第52号	議案第53号	議案第54号	議案第55号	議案第56号	議案第57号	議案第58号	議案第59号	議案第60号	議案第61号	議案第62号	議案第63号	議案第64号	議案第65号	議案第66号	議案第67号	議案第68号	議案第69号	議案第70号		
議案第34号	平成25年度一般会計及び特別会計の決算認定について	認定	手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	旧永平寺口駅舎地域交流館条例の制定	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	指定管理者の指定	新消防庁舎新築工事の請負契約締結	新消防庁舎新築工事(電気設備工事)の請負契約締結	消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター総合整備工事の請負契約締結	発委第2号	議会議務事業評価意見書の提出について	請願第1号	子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願	請願第2号	子どもの医療費無料化に関する意見書について	議案第35号	議案第45号	議案第46号	議案第47号	議案第48号	議案第49号	議案第50号	議案第51号
			可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	採択	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(川崎直文)は採決に加わりません

議案	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	樂間	齋藤	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第34号	×	○	○	○	○	○	○	□	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第56号	○	□	○	○	○	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	□	○	○	○	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第2号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等12件については全員賛成です。


予算決算常任委員会審査報告 委員長 上田 誠

平成26年度 12月補正予算 総額 **9,137** 万

小中学校空調整備(エアコン)工事進む 設置のための受変電設備補正予算可決する

議案第45号「平成26年度永平寺町一般会計補正予算」から議案第49号「平成26年度永平寺町農業集落排水事業特別会計補正予算」の5件は12月に同委員会を開催し慎重な審議を行い、議案45号は賛成多数、他は賛成全員可決した。審議の主な内容は次の通り。

- 問** マイナンバー制度導入によるセキュリティや事故の問題について
- 答** 事務の効率化、住民サービスの充実のため、セキュリティの完備や事故防止を図る
- 問** わが町夢プラン事業の目的や今後の取り扱いについて
- 答** 地域の活性化や魅力を高めるため、地域コミュニティに補助。3年をめどの補助とするが、申請内容はそのつど精査し対応していく
- 問** 農地集積事業の現状と今後の方向性について
- 答** 現状はまだ50%、今後も協力を求めている
- 問** 小中学校の空調整備に伴う受変電設備の内容、工期について
- 答** 学校ごとに改修、更新の予定。春休みや5月の連休を基本に工事し、来夏に間に合う予定



永平寺町議会議長 川崎 直文

魅力ある、やる気のある町へ

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、町議会に対しご理解とご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

町議会は、昨年の7月の改選による18名の議員で新たに構成され、「開かれた議会」「行動(考え動く)する議会」「提案する議会」に取り組んでいます。

今年度は、松岡公園整備の第1期工事が完了し施設の利便性向上と憩いの場が提供されます。消防機能の一元化を図る新消防庁舎の建設、御陵地区での防災行政無線の設置が進められます。永平寺温泉「禅の里」に隣接の道の駅が整備されます。議会はこれら事業の充実に回り、進捗をフォローします。

昨年11月に地方創生関連2法案が、可決・成立しました。地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定が求められます。本町においても今年度は合併後10年目であり、次の10年を見据える年です。

町行政と議会が一体となって地方創生(定住環境の整備、地域経済を支える人材の確保・育成、地域産業の振興など)に更に注力しなければなりません。

議会は、「行動(考え動く)する議会」「提案する議会」に軸足を置き、魅力ある、やる気のある町づくりを進めます。

年頭にあたり、町民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成25年度決算歳出(一般会計・特別会計)意見を附して認定する

議案第34号「平成25年度一般会計及び特別会計決算認定」については第5回定例会(H26年9月議会)に上程された付託議案である。10月1日から11月28日まで計8回の委員会を開催し慎重な審議を行った。認定にあたり8項目の意見として次のようにまとめ、平成27年度当初予算案に反映するよう求め、賛成多数にて可決し認定した。

- 防災行政無線整備事業は、住民に安全安心を与える情報伝達手段として大変大きな役割を果たしている。想定外の災害や停電時における周知方法の検討や、新しい技術(防災メール利用の拡大、こしの国テレビとの連動など)を視野に入れた構築を図ること。また、緊急時における緊急車両の通行確保手段も図ること。
- 社会資本整備に関わる(永平寺口整備、松岡公園整備、ふるさと創造プロジェクトなど)事業においては、事業目的に対する費用対効果や、整備後の活用目標達成度を明確にし施策を講じること。
- 税滞納の状況内容を把握し、早期に納税交渉・徴収督促に務め、徴収権の消滅時効を防ぐこと。また、不能欠損処理も含め迅速な滞納整理の方向性を示すこと。
- 公共施設の利用目的やあり方を明確にし、今後の再編計画(各支所、老人福祉センター、公民館など)を耐震計画も含め具体策を早急に示すこと。
- 国保会計の健全化を図るため、全体・個人の医療給付費上昇内容や要因の分析を継続して行い、適切な策を講じること。また、町民の健康増進対策や意識向上の更なる充実に向け、各関係課と連携し町全体として対応すること。
- 急速に進む高齢化社会に向けて、認知症対策を含む高齢者福祉の充実や地域包括ケアシステム、要支援対象者の町移管による対応を講じ、今後の地域福祉計画に十分に反映すること。
- 子育て支援、学校教育の充実した町としての魅力や、若者の定住支援施策を今後も継続するとともに、永平寺町のイメージアップにつなげるよう積極的に努めること。また、今後の住民参画のまちづくりの礎となる公民館活動も先進地に学び積極的に対応すること。
- 住民生活のインフラ整備の核となる上下水道事業は、石綿管の更新計画も含め、今後の全体的な更新整備計画を示し対応すること。

平成25年度一般会及び 特別会計の決算認定



反対討論（一般会計）

金元 直栄

町民への事業も多いことは認めるが、以下の理由で25年度決算に反対する。①新消防庁舎の方向づけは、それまでの論議も決定も全く無視し、多くの関係者の土地利用も古い開発センターの利用も問題とする声には一切耳を貸さず強行したこと。②上志比の温泉開場では、CAMU湯の方向性も決めず、請負業者の倒産の責任も取らず。③坪約七万円で購入の町有地を不法利用者に坪一萬円で売却するという異常。④温泉運営の指定管理業者は、指定の時から問題があると指摘されていた。そのリレキは一切示されずに指定していたが、その後違法行為明らかとなった。⑤職員採用では専門職の採用と考えるとしていたが後退。又人事の公平性が確保されてこなかった等の理由が上げられる。

反対討論（国保）

会計の財政悪化が指摘されているが、国保税は、個人の負担も限界にきている。会計の主旨からも、一般会計からの支援が必要なのに、これを行っていない。

議案への賛否討論



賛成討論

小畑 傅

町民にとって、利便性が向上することが期待でき、また、証明書も現行の3種類から5種類と拡大されることから議案第50号に賛成とする。

反対討論

上田 誠

住基カードでのコンビニ設置での受付サービスについては、全てが反対ではないが、先の自動交付機でのサービスが県下でも2市町（永平寺町・あわら市）の安易な先行のみで広がりを見ないまま検証もせずにいる。セキュリティや事故の課題も残ると考える。また、全国的にも普及も50%以下と聞いている。よってこの案件については保留とする。

賛成討論

長岡千恵子

証明書のコンビニ交付が開始されると、県外で証明書が必要になった時でも、最寄りのコンビニで証明書の発行が可能となり大変便利になるので、賛成の立場をとる。

反対討論（後期高齢）

75才以上の高齢者を別扱いとするというのに、さらに少額の年金の額によって利用負担を増やすなどは、さらなる差別医療とするもので、問題だ。

反対討論（介護）

安心できる制度とするために、個々人の生活実態にも目を向け、地域包括支援センター等は直営でやり、委託事業からも町民の生活実態をつかみ、利用しやすい制度とすべきだが、そうはなっていない。

賛成討論

奥野 正司

委員長報告は、委員会で疑問点、問題点が述べられ、理事者からそれぞれに説明を受けたうえでまとめられてきました。以上の経過をふまえ、25年度決算については賛成する。

議案第50号

住民基本台帳カードの利用に関する 条例の一部を改正する条例の制定

反対討論

金元 直栄

反対理由の第一は、コンビニ交付はサービスの向上という人もいるが、印鑑証明や戸籍、課税証明など、

議案第52号

手数料徴収条例の 一部を改正する条例の制定

反対討論

金元 直栄

庁舎等に設置の自動交付機での証書交付からコンビニ交付にすることで200円を削るといふ。それなら町民サービスのためにも、庁舎入口の交付機を撤去する必要はない。この自動交付機は何だったのか。私は引き上げに反対だ。

賛成討論

小畑 傅

議案第50号同様、利便性が向上することが期待できたことから、従来よりも値上がり（窓口交付の料金に）してもやむをえないと考え、議案第52号に賛成する。

反対討論

長岡千恵子

利便性が良くなれば、料金が高くなるのは必然。自動交付機は特別に手数料はかからない。コンビニ交付になれば、別途手数料が発生するので、役場窓口交付の手数料にコンビニの手数料を付加すべきと考える。

そこが聞きたい! 問&答

12月定例会 一般質問

17名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



上坂 久則 議員

問 どのような永平寺町を創るのか

答 財政を念頭に行革 町民目線の町政

問 健康福祉施設「禪の里」を活用し、医療費節

減を図りたい。 25年度の総額は13億円。4万件強の利用だ。近年では最高額である。

問 次年度の予算編成、根源的な考え方は。 **町長** 財政規律を念頭に、行革を進め、町民目線、立場に沿った町政を行う。就任後九か月が経過した。現場重視と町民が主役となりうる舞台づくりの町政としたい。



永平寺温泉「禪の里」

問 自治体構成の要である各種団体と実務者を入れた対等の立場に立った協議会を実施すべきだが、助成金・補助金等の

町長 団体の現場の意向を把握し、活発で自立している仕組みを検討したい。

【その他の質問】 「福祉向上の具体策とは」

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直米	樂間薫	齋藤則男	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	川崎直文	
12月16日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月15日	産業建設常任委員会	○	—	×	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	傍	○	傍	
12月12日	教育民生常任委員会	—	×	—	—	○	傍	○	○	○	—	—	—	—	—	○	傍	○	傍	
12月12日	総務常任委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍	○	○
12月11日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	全員協議会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月8日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月2日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月2日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月28日	議会運営委員会	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	傍	○	傍	
11月28日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月28日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月25日	産業建設常任委員会(視察研修)	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○
11月20日	予算決算常任委員会	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月20日	全員協議会	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月13日	総務常任委員会(視察研修)	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月12日	教育民生常任委員会(視察研修)	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月10日	産業建設常任委員会	○	—	×	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○
11月10日	教育民生常任委員会	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月10日	総務常任委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
11月10日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
11月4日	議会運営委員会	—	△	—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
10月29日	予算決算常任委員会(決算総括)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
10月25日	議会と語ろう会	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月24日	議会と語ろう会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月23日	議会と語ろう会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
10月23日	全員協議会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	○	○	○
10月16日	予算決算常任委員会(決算)	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月10日	予算決算常任委員会(決算)	△	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月7日	予算決算常任委員会(決算)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月6日	議会運営委員会	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
10月3日	議会広報特別委員会	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
10月1日	予算決算常任委員会(現地調査)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	議会広報特別委員会	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
9月24日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	19	25.5	22.5	29	24	28	24	31	28	30.5	24	25.5	29	31	24	28	26	26	26
	会議回数	26	29	26	29	26	28	26	31	28	31	26	26	29	31	26	28	26	26	26
	出席率	73%	88%	87%	100%	92%	100%	92%	100%	100%	98%	92%	98%	100%	100%	92%	100%	100%	100%	100%

ぜひ、傍聴にお越しください

第1回 定例会 日程 (予定)

- 2月24日(火) 10時～ 【本会議】
- 3月 2日(月) 3日(火) 4日(水) 10時～ 【一般質問】
- 3月 5日(木) 6日(金) 9日(月) 9時～ 【予算決算常任委員会】
- 3月13日(金) 10時～【予備日】16日(月) 【本会議】

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁の西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

問 地域防災力の強化を

答 官民一体で行動できるよう取り組む



中村勤太郎 議員

問 10月発生台風19号で、町は大雨・洪水・暴風警報の発令により「避難準備情報」を出し、町内全10の小中学校を避難所として開設した。この準備情報は町で初めてであり、瞬時に避難の判断をするのは地域住民には大変だ。この情報を発令した理由・経緯は。

町長 この「避難準備」の指示は、町防災マニュアルに沿って発令した。町民の皆様は混乱を与えた点を検証し、今後取り組む。



食の恵みフェア

問 町は「避難準備」の保存版としてチラシを出したが、区長へ「大事な資料です」と口添えする、そういう情報のパトナタッチ（報告・連絡・相談）も一つの対策といえる。「災害情報」について住民一人一人が考えて行動してもらえないような現状を作ってほしい。

総務課長 自治会の区長をはじめ、災害活動でお願いできる関係者方々への連絡など反省点があった。今後、しっかりとした連絡体制を整えたい。

町長 地域の皆さんと一緒に考え、地域の中で防災に取り組めるよう努めていくのが、防災の第一歩だと思いい、一生懸命取り組む。

問 来場された方々と、出店に参加された業者の数と意見感想は。

町長 この食の恵みフェアは、地元産業が活発になって発展することになる。出店された方が販売につながる、常に進化していくフェアにしていきたい。

問 継続可能な農業とは

答 生産者等が需要に応じた生産を



小畑 傅 議員

問 平成26年度の収穫も終了した中で、本年度から新たに行政に頼らず生産調整の配分が出来る環境整備を進めるとしているが、どのように推移したか。

農林課長 国の農林水産省の活力創造プランでは、平成30年以降は行政に頼らず生産者等が需要に応じた生産を行うこととしている。その中で本年度は、従来通り生産調整率33・35%であった。27年度は生産数量の配分には、都道府県別の自主的取り組み数値を併せて提示することとしている。



松岡地区の圃場（8月）

農林課長 農地の集積、集約化をすすめる目的で、今年から農地の中間管理機構ができたが、進捗状況はどのようになったか。

農林課長 日本型直接支払制度の一つの多面的機能支払交付金により、町と協定を結んだ活動組織に対し、農地の面積に応じ交付金を支払うもの。25年度は26集落483ha（53%）今年度は29集落545ha（59%）来年度は46集落776ha（85%）が多面的機能支払交付金の取り組みを行う。

問 地域自主防災組織の強化、指導、育成は

答 地域が自主防災の意識を



齋藤 則男 議員

問 町は、地域の自主防災組織とのかかわり合い、また自主防災組織連絡協議会との連携、その指導的なこと等について、どのように取り組んでいくのか。

町長 町として、自主防災組織との連携が非常に大切なのだと感じる。しっかりと地域が自主防災の意識を持っていただく、自主防災組織の育成は、JAと連携し特産物の推奨、育成に取り組む。



防災訓練

町長 自助、共助、公助これが機能的に機動的に動くことが大切なことだと思っている。

農地中間管理機構が設置された。本年の「受け手」は認定農業者4件、法人8件、個人5件の計17件の申し込みがあった。「出し手」は69筆9万7千㎡、18名の申し出があり、借り受け者として利用権の設定を行うこととしている。

問 松岡中学校「武道場」を考える

答 社会体育の機能は果たせる

問 幅14・4m×36mのシステム工法での建設で1億5千万円、一般工法での幅16m×36mでは1億8千万円と聞いている。内容をよく検討したのか。

農林課長 作付面積は横ばい、また減少傾向ということで、現状を踏まえて分析し、販路拡大に向けてJAと町が連携して、特産物の推奨・育成に取り組んでいきたいと考えている。

問 町のリーダー、町長として新年度の予算の編成に向けての構想は。

町長 しっかりと活力ある町にするため、情熱を

問 平成27年度当初予算編成方針は

答 財政健全性の確保を 着実に推進していきたい

町長 持って、町民目線で、職員一丸となって、町民の幸せ、また住みよい永平寺町となるよう努めていきたい。

問 食の恵みフェア開催目的は

答 町の産業と門前街の活性化を

問 食の恵みフェアを企画した目的は。

町長 永平寺町の食を町内外の人に周知し、大本山、門前街の、誘客につなげたいという思いと、門前街の活性化につなげたい気持ちで開催した。

問 このイベントを年2回以上開催しては。

町長 この食の恵みフェアは、地元産業が活発になって発展することになる。出店された方が販売につながる、常に進化していくフェアにしていきたい。

問 松岡公園 獣害対策は万全か

答 速やかに広報・緩衝帯設置も検討



長岡千恵子議員

問 公園は老若男女が集まる所なので、安全性が一番の要件になる。松岡公園は都市公園と違うもの、山にある。獣害対策が必要では。

建設課長 熊などが出没した場合は、速やかに公園利用者に伝達し、注意喚起を広報する。山林所有者の理解を得て、緩衝帯を設けることも維持管理の中で検討。



整備工事中の松岡公園

問 「ふるさと創造プロジェクト事業」の概要は。企画財政課長 福井県が推進している事業で本町は「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト」として、平成26年から28年までの3カ年継続事業。松岡織物会館を再建して拠点施設とする。基本的に現在の建物、意匠を踏襲したもので、大きさもほぼ同じと考えている。

問 松岡織物会館を再建するのならば、松岡公民館が老朽化している中で、公民館としての機能



解体される松岡織物会館

問 交流の場・生涯学習の場として利用を付加できないか。

企画財政課長 福井県の補助事業で目的が定められている。公民館とは区別する必要がある。町民の交流の場として、生涯学習の場として利用してもらいたい。公民館的とは言えないが、利用は十分可能と考えられる。

問 旧織物会館 公民館としての利用は

答 交流の場・生涯学習の場として利用を付加できないか。

企画財政課長 福井県の補助事業で目的が定められている。公民館とは区別する必要がある。町民の交流の場として、生涯学習の場として利用してもらいたい。公民館的とは言えないが、利用は十分可能と考えられる。

問 子育て支援の内容は

答 県内でトップの水準

問 本町の子育て支援の具体的な内容は。

子育て支援課長 保育料の低額設定・すみずみ子育てサポート事業・保育カウンセリング事業・毎月第3日曜は子育て応援の日を設定など。

問 第3子の保育料は無料か。

子育て支援課長 第3子以降の3歳未満児は無料。3歳以上の第3子は、第1子・第2子が通園している場合は無料。

問 来年10月オープンの「道の駅」今後の工程は

答 指定管理の検討期間延長でできるだけ地元による運営を



道の駅の外観イメージ

問 上志比地区で来年オープンする「道の駅」敷地造成工事が県また、町の工事入札もされ、休憩所・トイレは順次来年から発注されると思うが、町発注の地域振興の販売施設計画は今どこまで審議がなされているのか。

町民特に上志比地区住民 は未だに方向性が見えない。

建設課長 県が整備するトイレ・休憩所・情報発

いたため、地域の野菜・食品加工販売にしても町のブランド発信、地域活性化を目指す目的が、招かざる客のようにいるんな意見が飛び交っている。地域住民は何に協力、何を支援したらよいのか対岸の火事と感じているのが現状である。以前より道の駅検討委員会を設けて審議していると聞いています。来年10月オープンまでのような工程か。

町 が発注する地域振興販売施設の建築設計費いつ計上するのか。

建設課長 県が整備するトイレ・休憩所・情報発



多田 憲治 議員

問 町の名所に外国語の案内板を

答 看板設置など計画的に進めていきたい

問 永平寺町には数多くの観光名所がある。特に大本山永平寺は海外からも高い関心をもたれており、小松空港では上海便・台湾便が増便されているが、現在の外国人観光客数と中国・台湾からの観光客数は。

商工観光課長 大本山永平寺へは平成22年度は8371人、中国・台湾の方は6213人で、平成23年度は4513人、中国・台湾の方は3175人で、平成24年度は6658人、中国・台湾の方は4674人で、平成25年度8772人で、中国・台湾の方は6566人となっている。

町長 先月、嶺北4町の町長と台湾



ポケットパークの英語案内板

問 今後、外国人観光客の方の増加が見込まれるなかで、町としての取り組みや整備計画は。

町長 外国語の看板設置や、パンフレット、ホームページ、WiFi環境の整備などを進めていきたい。

注※「インバウンド」外国人旅行者を自国に誘致すること。



江守 勲 議員

に行き、台湾の観光庁と外務省の方の話を聞いた。円安で日本政府もインバウンド対策に積極的になり組んでいる事は、永平寺町にとってもチャンスであり、インバウンド対策の準備をしていきたい。

問 吉峰寺キャンプ場改修、整備を

答 方向性を決めて整備



朝井征一郎 議員

問 地域資源を活用して、地域の住民との交流を図り活性化のためにも改修し、補修整備を行うべき。青少年の健全育成のためにも必要である。祖跡コース（永平寺から吉峰寺）の整備など、自然豊かな山々を満喫し観光地が有り、吉峰寺、越前竹原白龍弁財天、赤井家の馬門、荒川興行寺など観光ルートを活用し、キャンプ場を早急

答 町長 観光にも、また青少年の育成にも、そういったふうにつながるような施設になればいいと思っています。委員会において、お話いただき方向性を決めた中で整備させていただきたい。



吉峰寺キャンプ場バーベキュー広場

町長 観光にも、また青少年の育成にも、そういったふうにつながるような施設になればいいと思っています。委員会において、お話いただき方向性を決めた中で整備させていただきたい。

問 再度、脱衣場、口ツカいの改修はいつされるのか。収支決算書においては、利益が出ていると思われるので、利益金で改修し、利用者に喜んでいただき、より良い施設にしてほしい。利用料金については、公平な料金に見直しをお願いする。

答 福祉保健課長 脱衣場が狭いという声は聞いています。健康教室は、実際に月に一、二回ぐらい利用しているが、あの施設は休憩所も狭いことから、週末の利用者が多くなつたときに、臨時休憩所に

問 「福井しあわせ元気国体」に備えて

答 国体の成功をめざし官民一体で取り組む



川治 孝行 議員

問 永平寺町民がスポーツに親しみ、運動を習慣化する目標値があるのか。

答 生涯学習課参事 現在、運動を習慣化する目標値は設定していない。今後、町民がスポーツに関心を持ち、運動することが習慣づけられる方策を講じていきたい。

問 福井国体に備えて、全庁職員が一体となり取り組む必要があるが、現在の取組状況は。

答 生涯学習課参事 現在、副町長、教育長及び全課長組織の町内推進連絡会議また、参事・課長補佐級で構成する幹事会を設置し、国体準備に必要な事項について協議を行っている。

問 多くのスポーツ関係者及び観光客の来町を想定し、これらに備えて、



昨年の国体の様子

関係各課における観光、環境整備、環境保全に対する施策について問う。

企画財政課長 禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト事業が完成し、国体では、観光誘客施設拠点としてイベントの開催と高速インターネット環境を整え、試合速報や試合結果を収集できるようにする。

建設課長 国体開催地の周辺及びアクセス道路の舗装状況、道路照明等の道路構造物の整備を考えている。

農林課長 永平寺町をPRできる新商品の開発、伝承料理、地元特産品等の商品の販売に取り組んでいきたい。

商工観光課長 大本山永平寺をはじめ、町内の産

問 永平寺口旧駅舎に観光物産協会を

答 商工会整理統合、平成29年度向け



長谷川治人 議員

問 永平寺町商工会は、永平寺町の観光事業推進の一翼を担う重要な組織。観光物産協会についても、今後新たな移動先として永平寺口駅を考へられないか。観光地としての魅力を県内外に発信する重要な拠点として、また観光に来られた方々が気軽に立ち寄ることができ、「観光地永平寺町」の魅力に触れていただくための「窓口」として機能させるためにも、人々が流れる観光地への交通アクセス面に接



旧永平寺口駅舎

して拠点を構える事は大変意味のあること。このことから、大本山永平寺への交通上の玄関口でもあり、国指定の登録有形文化財でもある永平寺口駅舎内の一部を観光物産協会の事務所として使用し、地域が誇る素材を最大限に活用できると考えるが。

町長 現状では、商工会からも観光物産協会の考えも聞かされていない。商工会から話が出てきたらしっかりと状況を話す。

物を総合的に紹介していきたい。

問 国体の成功は、官民一体の活動が必要であるが、町民はどのような活動や支援ができるのか。

答 生涯学習課参事 町民運動には、花いっぱい運動として、国体推奨花のプランター栽培や、応援のぼり旗、クリーンアップ

作戦がある。また国体開催中は、受付案内係、休憩所係、駐車場係、美化清掃係などボランティア活動がある。

問 永平寺町内の各スポーツ団体への活動が国体に向けて参加できる構想と施策は。

答 生涯学習課参事 国体選手を輩出できるよう競技

力の向上と育成に努めた。また各種スポーツ団体には国体開催への機運を高める啓発活動を展開しPRをしていただき、国体への参加と協力をお願いしたい。

【その他の質問】
「地方創生に向けた道の駅」

上下水道課長 松岡地区6カ所、永平寺地区5カ所、上志比地区2カ所あり、その貯水槽が決壊しないか、少なくとも人為的なミスでの被害が起らない、起こさないよう事前に適切な点検・管理を願う。



緑の村上水道貯水槽

る。点検は年に2回程度周辺の草刈や掃除をや

【その他の質問】
「避難時のマニュアル化を」「選挙投票所の見直し」



議員 間 薫 楽

問 食の恵みフェア今後の課題は

答 出店事業所の商売につながるように

問 10月に開催された食の恵みフェア、町の商工会やJA、観光物産協会等の協力が無かったように思えるが。

町長 準備の時間も非常に短く、ブランド協議会を中心に進めてしまい、今回一番の反省材料だと思っている。

問 フェアの中で、特にこの商品は人気があった、今も売れているという商品の把握は。

商工観光課長 29ブースが出店され、そのほとんどが完売となった。今回サクラマスを使ったハンバーガーや丼物が初めて出されたが大好評となった。

問 フェアの中で、特にこの商品は人気があった、今も売れているという商品の把握は。

町長 今回の開催に向けて課題もあったが、やはり出店される事業所の皆様が自分の商売につなげていただけるフェアに思っている。



食の恵みフェア

問 人口減少問題 大学と病院の協力を

答 包括的協定を生かしたい

問 住みよくなる町を目指す。指して町の施策は若年層

答 包括的協定を生かしたい

りについては健康づくり推進員、各地区にあつてはサロン活動に福祉委員、民生委員が中心になって活動を進めている。健康長寿等については食であり介護予防であり認知症の予防である。今後、地域を巻き込んだ活動をしていきたい。

問 健康づくりについて

答 任意の策定となつていない。新たな振興計画の策定をどのように考えているのか。

企画財政課長 自治体経営は、少子・高齢化の進展、人口減少対策、防災対策、公共施設老朽化対策、行政改革、住民と行政の協働はこれまで以上に自治体のマネジメントが必要であり、第2次総合振興計画の策定は、第3次中期財政計画と整合性を図りながら検討していく。

町長 社会情勢が変化しており、地方創生とか農業の政策の転換、町の賑わいを取りもどすためなどを開発したらよいか等、町民には分かりやすく、例えば漫画とか絵を多く使って計画したいと思っている。時代の流れも非常に早く見直す時には5年なり、随時見直ししていく。

問 就業先確保、地域おこし協力隊誘致

答 地域おこし協力隊は精査、検討

問 企業誘致数、新規雇用者数は。

企画財政課長 合併後の誘致実績は4社、内企業立地促進条例対象2社。雇用促進助成対象者8名。現在企業立地促進条例の認定申請提出先が2社。

問 県の企業立地ガイドには県下8市2町の11産業用地紹介、本町は無い。町総合振興計画には「新たな産業拠点形成、企業誘致を進め」とある。

企画財政課長 具体的取り組みはまだ。北インター周辺は福井市と協力して取り組もうという話に。

問 永平寺ブランド創出取組：ブランド開拓や新分野・取引先開拓支援、人材発掘斡旋をするアドバイザー、専門職を

町長 新しい価値観を持った、外から見て永平寺町を生かしていただける方と一緒に働くと言う事は、このまちを変える起爆剤になるかと思う。精査検討したい。

農林課長 田舎で働き隊



議員 奥野 正司

知る永平寺町関係者もいる、活用を。地域おこし協力隊、田舎で働き隊、緑のふるさと協力隊の隊員に応募した都会の若者が一定期間経過後、赴任先自治体で自分の居場所・仕事を見つけて定住する例が40〜50%。このプログラムの利用を検討すべき。

企画財政課長 町の情報や魅力を大都市圏居住経験者の視点・価値観で収集し、大都市圏の人が関心を持つ情報や、情報の見せ方、効果的な情報発信を永平寺町民として活動していただくため、制度活用を検討したい。

問 佐賀県は県外の企業で5年以上の勤務経験者を対象にU・イターン採用枠を設け、地域活性化のために、すでに70人を採用している。

町長 「行政組織スリム化計画と進捗は」「本町のコンパクトタウンとは」「大谷川に水位観測用ゲージを」

問 次期永平寺町の総合振興計画は

答 アンケート等 住民参画手法で計画



議員 伊藤 博夫

問 本町の総合振興計画は、平成29年度で終わるが、地方自治法が改正され策定の義務化が撤廃された。各自治体が判断

答 アンケート等 住民参画手法で計画

問 男女の縁結び仲人の育成は

答 個人情報もあり婦人福祉協議会に

問 本町には結婚適齢期を過ぎた男性・女性が多いようだ。昔は仲人が多かったようだが、現在、町として結婚仲人の育成をしているのか。

福祉保健課長 町内には

問 自主防災組織連絡協議会を強力に

答 防災知識の高い方に要請中

問 町内8ブロックに区分し平常時の地区の活動(自主防災組織)から地域での活動に広げ、災害時には迅速な活動ができれば素晴らしい組織だと

消防長 各ブロックで温度差が生じており、総務課生活安全室と消防が連携をとり地域振興会や各

問 町内8ブロックに区分し平常時の地区の活動(自主防災組織)から地域での活動に広げ、災害時には迅速な活動ができれば素晴らしい組織だと

消防長 各ブロックで温度差が生じており、総務課生活安全室と消防が連携をとり地域振興会や各

問 町内8ブロックに区分し平常時の地区の活動(自主防災組織)から地域での活動に広げ、災害時には迅速な活動ができれば素晴らしい組織だと

消防長 各ブロックで温度差が生じており、総務課生活安全室と消防が連携をとり地域振興会や各



田舎で働き隊

【その他の質問】
「行政組織スリム化計画と進捗は」「本町のコンパクトタウンとは」「大谷川に水位観測用ゲージを」

福祉関係委託事業の実施内容を町はつかんでいるのか

意識を持ってとりくむ



金元 直栄 議員

問 町は高齢者福祉事業の多くを、社会福祉協議会などの民間事業所に施設運営を含め事業実施を委託しているが、事業目的にそってきちんと実施されているのか。また、これら個々の事業の中から高齢者の生活実態や介護者の状況も含め、町はつかんでいるのか。

答 特に社協へは、福祉、介護も含め多くの事業を委託していることから、定期的に事業実施の協議を行うべきではないのか。福祉保健課長 本町では在宅福祉や各種の検診等、多くの事業を委託している。介護用品等にしても、支給決定は町で行っていることから、ある程度高齢者の実態もつかんでいる。ただ、委託事業の中から要介護者や介護者の実態が見えていくかという点、意識してつかんでいるわけではない。



考えている。ただ、その施設一つを目的としているわけではなく、地区や町全体における公共施設の配置、また、改修等にかかる費用の長期間財政計画も踏まえて、方向性をしっかりと見きわめていきたい。



旧上志比公民館体育館部

変わる教育委員会課題はないのか

首町と委員会が連携して対応

問 現在の制度は戦後日本の反省から①「政治的中立性の確保」②「方針の継続性、安定性の確保」③「地域の人たちの参加で住民の意向を反映する」の大原則の基に設置された。変更は首長が任命する「教育長」の一本化。首長が招集する統合「教育会議」。首長が策定する「大

綱」が主である。首長が教育行政に大きく関与することになる。大原則からは課題がある。教育課長 改正による課題を検討して、政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ行政責任の明確化、迅速な危険管理体制の構築、首長との連携を図る。

永寿苑を、上志比・永平寺の老人センターにしては

公共施設の再編の中で検討中

問 上志比に温泉が開業以後、元のCAMU湯、老人センターは利用が二日5、6人となっている。一方、飯島にある永寿苑の利用もさほどでないことから、バスを運わせて上志比の人々の老人センターとして利用してはどうか。

答 福祉保健課長 確かに利用者には減っている。永寿苑については公共施設の再編の中で、あり方の検討中である。上志比の人の利用については、施設が移るということに対する利用者の気持ちの問題もあり、検討をすすめていく。

教育委員会をどうしようか

委員の意見は尊重される

問 国の法改定で、教育委員会は首長の権限が強

められ大きく変わるが、教委が直接住民の要求を聞くことや、審議内容の公開はどうしていくのか。

政府は地方創生といっているが

ワーキンググループで協議中



酒井 要 議員

問 地方から元気を出していくための政府の施策面を考えると、地方に元気になつてもらうための手助けだと思ふ。本町の気持ちは知りた

答 国では二、三兆円規模で生活者支援、生産者支援、まち、ひと、しごと支援と生活活性化、災害危機への対応

公共施設の見直し協議は

行政改革の中で取り組んでいる

問 町内の公共施設の見直しと報告があった。利用されていない施設として上志比地区に旧小学校体育館があるが、現在中に入れな

答 用したが、現在は利用できない。室内体育館として改装はできないのか。総務課長 旧上志比小学校は校舎も残っているが上志比地区の中心のなところにあるので、さまざまな用途に利用できると

子どもをネット依存から守れ

新年度に向けて対応を図る

問 子どものSNS利用による犯罪や事件に巻き込まれるケース。インターネット依存による病

答 気や生活破壊の広がりなど。子どもを育てる社会全体の観点から早急の対応が必要。

教育長 2年程前より取り組んでいる。PTAと協力して内容を把握し、周

地域を変える力は公民館活動

充実に向け担当主事を配置

問 地域づくりの基本は住む人が安全、安心、尊重されたよりよい生活を地域で見出すことである。そのための人づくり

答 加すること。そして、協働のまちづくりを推進していく。

醸成のための課題探し、その解決に向けた動き、そして活動の場（コミュニティ）の設定が必要。

問 公民館活動のあるべき姿を明確にし、主事の役割、仕事の目標設定、カリキュラムを設定し、館長と連携して対応すべき。

町長 町民がまちづくりの主役とは自らの視点で課題を検討し解決に取り組み、そして自発的に参

答 が社会教育づくり。担当主事、館長を中心にみんなでつくりあげる形にする。



上田 誠 議員

問 病的なネット依存は約52万人、やらないと気が済まないは300万人、使用のルールを決めていないが半数の50%にも達している。新年度に向け町として学校、PTAと協同して指針を示し対応すべき。



滝波登喜男 議員

問 ミニ観光施設事業は大丈夫か

答 立ち止まることは出来ない



ふるさと創造プロジェクト

問 ミニ観光施設としては、松岡地区での「ふるさと創造プロジェクト事業（旧織物会館の建て替え）」「松岡公園整備」永平寺地区での「永平寺口駅周辺事業（レンガ館・旧駅舎保存）」上志比地区の「禅の里温泉横の道の駅整備」であり、10億円を超える事業である。このことで、後年に起債償還や指定管理料・メンテナンス費などがかかってくる。厳しい財政状態の中、計画どおり事業を進めてもよいか。立ち止まって考え

直すことも必要だ。町長 立ち止まることはなかなか厳しい。ただ、もう進んでいる以上は成

問 学校給食のアレルギー対応は

答 保護者と学校が合意

問 長野県松本市「学校給食におけるアレルギー児童対策」の視察研修に行った。そこでは、保護者と学校、給食センターが何度も協議し、その対応策が合意でき次第、教育委員会が決定するしくみを作っている。本町はどうなっているか。学校教育課長 平成25年

問 公民館活動を通じた人づくり、まちづくりを

答 公民館を核として

問 公民館を拠点とした文化活動を行うことで、地域とかかわり人が育っていくことが、公民館活動だと思ふ。そこが基礎となり、町民が町づくりを参画するのだと思ふ。

常任委員会報告

道の駅の管理のあり方

産業建設常任委員会

委員長 朝井征一郎

今回は、産業建設常任委員会においては、付帯議案は無し、その他の中で行政との協議事項

1 「道の駅」の施設整備および運営について

・ 特色ある、魅力ある施設を

・ 目玉となる商品開発で誘客を図る

・ 指定管理者の募集を早期にし、十分な運営協議を行う

・ 募集要項（案）の提示を産業建設常

任委員会に、その後全員協議会へ

2 観光について

・ 永平寺口に自転車の設置を

・ 祖跡コース（永平寺く吉峰寺）の整備を

3 地区要望回答について

・ 文書による回答ではなく、支所での

区にへの説明対応を

4 団体補助について

・ 団体からの補助提案書で、来年度の

予算編成を



温泉横 道の駅建設予定地

旧永平寺口駅舎 地域交流館条例制定成る

総務常任委員会

委員長 中村勤太郎

本委員会は12月12日に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に提案され付託された案件について慎重に審議した。

議案第53号

旧永平寺口駅舎地域交流館条例の制定について

本案の条例制定は、登録有形文化財に指定されている旧永平寺口駅舎を保存・活用し、地域住民の交流と情報発信を目的として、名称を「旧永平寺口駅舎地域交流館」と称し、展示スペース及び地域交流スペース・談話室の施設を構成し、地域の方々が設置目的の範囲内で自由に活用する施設内容である。

《主な意見》

①名称については、平成14年に東古市地区で駅舎名称を協議され、満場一致で「旧永平寺口駅舎」の名称で議決していることから、地区の意見を尊重した。



旧永平寺口駅舎地域交流館

②施設利用の地域住民の範囲については、永平寺町全町民やその他団体の活用施設としたい。
③当施設に掲げる展示スペースには、継電運動盤など鉄道に関する備品や、地域活動の写真パネル及び地域の方々の作品を展示。また、地域交流スペースでは、テレビ画像にて大本山永平寺や門前街のPRを行う。
……採決の結果、委員会全員賛成により可決

住基基本台帳カードの利用拡大

教育民生常任委員会

委員長 滝波登喜男

本委員会は、12月12日に開催し、今議会に提案され付託された議案について慎重に審議した。

議案第50号

永平寺町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

……可決
自動交付機及び今後のコンビニ交付による証明書を現行の3種類から5種類に拡充するもの。



本庁自動交付機

議案第52号

永平寺町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

……可決
自動交付機を利用した場合の料金を、役場窓口交付の料金を統一

議案第54号
永平寺町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
……可決
産科医療保障制度の見直しにより、減額された分を出産育児一時金に加算して支給するもので、総額は42万円を維持する。

議案第55号

指定管理者の指定

……可決
永平寺老人センター永寿苑・松岡デイサービスセンター・永平寺デイサービスセンター・上志比デイサービスセンターの指定管理者を永平寺町社会福祉会に指定する。

請願第1号

子どもの医療費助成制度の窓口無料化について請願
……採択

《人口減少の克服を目指して》

問 奥越地区から永平寺町への転入者が多いかどうかなど、またUターン・リターンの分析をすべきでは。

議会 分析することによる対応策の検討が必要として議会としても行政へ求めている。

行政 ●10月より永平寺町人口減少対策検討委員会を設置し、様々な方面からの分析（転入・転出先の分析等）・検討をする。

●平成24年度より、若者定住促進支援事業で、転入の世帯数は、33世帯・108人。

●福井県にて県外に就職した本県出身若者を主対象に「福井県出身者のライフコース選択に関する意識形成と行動調査」を実施している。

●福井に戻らなかった要因については、各市町にも調査結果の提供があるので、そのデータも活用し人口減少対策の施策を検討していく。

問 仕事に関する支援、Uターン者への助成や帰ってきやすい環境づくりは。

行政 町のホームページで、定住促進ポータルサイトを設置しており、定住情報として、住まい・助成制度等の情報を提供している。また、各ハローワークにもリンクしており、仕事探しに関しても情報提供できる環境となっている。

また、「永平寺町企業立地促進条例」を制定し、企業誘致にも努めている。

問 昨年、定住促進支援制度にのり新築し助成の申請をしたが、下水道加入負担金の助成は受け



ダイジェスト版

議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

平成26年10月23日24日25日 実施

町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、3日間で延べ155の方が会場に足を運んでくださいました。



られなかった。対象になるなら規定をはっきり表示すべきではないか。(定住促進の施策として)勝山、東京でも固定資産税減免等さまざまな助成をしている。空き家の入居者斡旋、利活用も含め、もっと真剣な議論の基に積極的な対応を進めないと人口減はますます進行するのではないか。

議会 行政に強く申し添える。どのようなときに対象になるかならないかはっきり明示すべき。(若者定住促進支援制度において)親族の居住地と同一敷地内においても対応の検討、固定資産税の軽減の提言を行っている。空き家の再利用については、空き家情報バンクへの登録、情報公開等に対応している。

《地域の防災強化を考えよう》

問 台風19号で町から出された避難準備情報の広報内容が理解しにくい。具体的に何をすべきか平素より町民への周知を図るべき。

議会 広報した情報の内容が町民に周知徹底できるように、行政に強く提案していく。

問 町防災訓練と地区の防災訓練と、地区からの参加者が分散し、中途半端な感じだった。消防署の人も来ていただいて指導を仰ぎながら、地区別訓練を充実した方が意義あるのではないかと思う。

議会 年ごとに松岡、永平寺、上志比と順番に総合訓練を実施している。自主防災組織連絡協議会(防災ブロック単位で8協議会)としてまとまって活動することで、単独の自主防災組織(地区単位で90組織)では難しい研修会や合同訓練などの活動ができ、また、他の自主防災組織との情報交換ができる。地区別訓練、総合訓練、共に充実させることが必要。町の総合訓練日以外にも、地区自主防災組織にて防災訓練を実施したほうが良い。兼定島では二十数年来地区で防災訓練・消火訓練をやっていて今では女性だけでも消火栓からの放水は出来る位になっている。やはり、地区の防災・防火技術のレベル向上が肝心。

《その他の意見交換》

問 行政は各地区からの要望に対し、丁寧な回答をしてもらいたい。

議会 議会からの指摘により、各地区からの要望に回答するようになった。

行政 今年度から8月下旬と12月上旬の2回行うこととした。今後も、地区要望に対しての回答をしていく。

問 学校給食費無償化事業はいつまで続くのか。

議会 議会も町民の意見を集約できるよう求めている。

行政 学校給食検討協議会を立ち上げ、町民の意見を聞き、方向性を検討していきたい。

問 子育て支援策として3人以上の子どもがいる家庭には町独自で、もっと手厚い支援してほしい (松原団地)

議会 本町は3人目から保育料は無料となっている。

行政 「子育てにやさしいまち」として合併前から様々な子育て支援策を実施している。特に3人以上の子どもを持つ家庭に対しては、第3子以降3歳未満児の保育料はすべて無料(同時期に3人が園に在籍していれば3歳以上児でも第3子以降は無料)となっている。また、経済的負担が大きくなる第3子以降の3歳未満児に対し、「すくすく保育」など各種事業を無料で行っている。

問 地区の公園遊具の点検修繕で、町負担と区負担があるのは不公平では。

議会 従来より、地区の神社敷地等にある遊具は、区で維持管理が行われており、社会福祉協議会の助成対象で、遊具の新設や修繕等の維持管理も対象となる。

行政 町が条例に基づき管理している公園や宅地造成で作られた公園は、町が維持管理を行っている。

(行政からは後日回答を得ました)

※紙面の都合上、掲載できなかった

質疑内容・回答はホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所で2月上旬よりご覧いただけます。ご了承ください。



永平寺町議会 検索



本議会以外にも
いろいろ活動
しています!

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



10/6 議会と語ろう会CM撮影
10月23日・24日・25日に開催する『議会と語ろう会』のPRのため、川崎議長と長岡副議長がこしの国ケーブルテレビでCM撮影を行いました。



10/1 予算決算常任委員会 現地視察



予算決算常任委員会で、平成25年度予算が適正に使われたかの審議(全5回)をしました。
この日は一日現地視察・調査を実施。

10/2 上志比老人スポーツ大会

第9回上志比地区老人スポーツ大会が上志比小学校で開かれ、高齢者が交流を深めながら、多彩な競技で爽やかな汗を流しました。約240人が参加し、10競技で勝敗を争いました。
開場では、川崎議長が近日開催する『議会と語ろう会』のPRもしました。



10/2 抱負スピーチをテレビ放送

10月2日より8日までの1週間、議員18名のスピーチをこしの国ケーブルテレビの行政チャンネルで放送しました。



11/4 永平寺町の文化の発展へ



11月1日・2日の二日間、永平寺町文化祭が開催され、町内の文化・芸術活動グループが音楽や踊りの披露、郷土の歴史や書道・絵画・

写真・花や植木などの展示など、日ごろの文化活動の成果を発表しました。

本当に素晴らしいものばかりで、こういったものをたくさんの方に見てもらおうことで、永平寺町の文化の発展につなげていってほしいと感じました。

10/9 永平寺町消防操法大会

松岡総合公園you meパークで永町消防操法大会が行われ、町内の事業所が自衛消防隊の消火技術を競い合いました。
挨拶の中で議長は『議会と語ろう会』のテーマとして防災強化について取り上げていることを紹介し、PRを行いました。



10/28 福井県市町議会議員合同研修会

法政大学法学部教授：廣瀬 克哉 氏の講演「地方議会改革の課題」、政治ジャーナリスト：泉 宏氏の講演「これからの日本の政治」があり、興味深く拝聴しました。今後の議会運営等に生かしていきます。



10/31 永平寺町戦没者追悼式



永平寺町戦没者追悼式があり、議会を代表して長岡副議長が追悼の辞を述べました。臨席した議員14名が霊前に花を供え、哀悼の誠を捧げました。

11/18 嶺北4町 合同研修会

池田町・越前町・南越前町・永平寺町の4町の議員が一堂に会し、越前町において研修会が行われました。『福井の魅力と素材～その地域性と歴史性から探る～』と題した講演では、福井の知られざる歴史や裏話などを聞き、改めて福井の魅力というものを感しました。
その後、越前町にできた道の駅を視察しました。また議員同士で情報交換するなど、交流も深めました。



11/30 禅の里まちづくり講演会 「日本の食とこころ」



「よみがえれ、日本の食とこころ」をテーマに禅の里まちづくり講演会が開催され、議員らも参加しました。

キューピー株式会社 顧問の岩村暢子氏の講演「食の危機を見つめて」では、現代食卓の姿としてたくさんの写真が紹介されました。

講演後には、パネリストに岩村暢子氏(キューピー株式会社 顧問)、井戸理恵子氏(民族情報工学研究科)、天谷祥子氏(学校法人 天谷学園 理事長)、三好良久氏(永平寺 典座※)を迎え、「家族の食卓にうつるもの」と題してパネルディスカッションが行われました。

※典座(てんそ)とは、禅寺において「食」を司る重責を担う役僧のことです。

11/16 子育て応援フェスタ

アテネ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦さんの子育て講演会や、はなちゃんのバルーンアートショーが開催されました。議員も会場の皆さんと一緒にバルーンアートに挑戦! 童心にかえり、思わず笑みがこぼれました(^-^)



11/17 大分県玖珠町議会 来町

大分県玖珠町議会の議員6名が「議会基本条例」「議会と語ろう会」「議会だよりの編集」「小中学校の給食費無償化」についての視察のため、来町しました。



視察レポート

平成26年11月

災害時の情報・連絡体制の状況

11月13日(木)～14日(金)

和歌山県那智勝浦町消防本部

平成23年に発生した台風災害時の職員及び自主防災組織(地区)の連絡体制と情報収集については、防災行政無線及び役場屋外子局無線・トランシーバー等が大変有効であった。

また、災害機器の運用面で特に、機器の燃料の確保及び現場への搬入も通信体制の強化で全体的にスムーズに対応できた。



土石流発生現場

町総合防災訓練内容

和歌山県那智勝浦町役場総務課

総合防災訓練は行っていないが、地区別での住民が中心となった総合訓練を行っており、地域の結束及び防災に対する確かな自信につながっているとのこと、大変に参考になった。



総務常任委員会

地域づくりと公民館活動

11月12日(水)～13日(木)

当委員会は、11月12～13日、長野県喬木村・高森町・松本市で視察研修した。

喬木村は、16の公民館分館に主事(非常勤務)の配置と活動費を交付し、体育部、社会部、女性部、が活発に活動している。また、5月29日をチャレンジデーとし、村民がこの日に15分間体を動かした数を競うもので、なんと村民の72.4%(4,896人)も参加していた。



高森町では、「町民一人一人にできること」、「仲間や地区にできること」、「役場や議会は何をしなくてはいけないか」など、「まちづくり基本条例」を1年9ヶ月間かけ、町民と協議し制定した過程があり、それについて研修した。

松本市は、平成12年度から学校給食で食物アレルギー対応食提供事業を実施している。その先駆的で、充実した、きめ細やかな対応について学んだ。

視察後に感じたことは、どのまちも首長の強い意志と根気強い職員がいて、成し得たものだということ。そして、我が町も住民のための政策を住民と協働で創ることが大切だと学んだ。



松本東部給食センター

教育民生常任委員会

地デジ12ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間
2015年1月30日(金)～2月3日(火)

時	1月30日(金)	1月31日(土)	2月1日(日)	2月2日(月)	2月3日(火)	時
9	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目②) 中村勤太郎議員 多田憲治議員	00 予算決算常任委員会	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長谷川治人議員	9
10		47 文字告知放送	02 文字告知放送	57 文字告知放送	22 文字告知放送	10
11	28 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目③) 江守勲議員 長岡千恵子議員	00 本会議	00 一般質問(2日目①) 朝井征一郎議員 楽間薫議員 奥野正司議員	11
12	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 小畑博議員 齋藤則男議員	46 文字告知放送	19 文字告知放送	28 文字告知放送	35 文字告知放送	12
13	55 文字告知放送	00 予算決算常任委員会	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長谷川治人議員	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 上田誠議員	13
14	00 一般質問(1日目②) 中村勤太郎議員 多田憲治議員	57 文字告知放送	22 文字告知放送		47 文字告知放送	14
15	02 文字告知放送	00 本会議	00 一般質問(2日目①) 朝井征一郎議員 楽間薫議員 奥野正司議員	28 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	15
16	00 一般質問(1日目③) 江守勲議員 長岡千恵子議員	28 文字告知放送	35 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 小畑博議員 齋藤則男議員	46 文字告知放送	16
17	19 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 酒井要議員 上田誠議員	55 文字告知放送	00 予算決算常任委員会	17
18	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長谷川治人議員		47 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 中村勤太郎議員 多田憲治議員	57 文字告知放送	18
19	22 文字告知放送	28 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	02 文字告知放送	00 本会議	19
20	00 一般質問(2日目①) 朝井征一郎議員 楽間薫議員 奥野正司議員	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 小畑博議員 齋藤則男議員	46 文字告知放送	00 一般質問(1日目③) 江守勲議員 長岡千恵子議員	28 文字告知放送	20
21	35 文字告知放送	55 文字告知放送		19 文字告知放送		21

川場村道の駅(田園プラザ川場)

11月25日(火)～26日(水)

川場村

人口 3,898人 面積 85.29km(山林83%)
(農業、こんにゃく、酪農、果実、りんご、ぶどう等)

今回の研修は小さい村。一般的な道の駅は、休憩所、案内所、トイレの基本施設に農産物直売所と食堂がある形で構成されるケースが多いのだが、ここは広大な敷地内でのいるような建物があり、散策コース、買い物、体験コーナー、温泉宿泊設備などもあり、自然豊かな環境の中の道の駅である。

事業計画となった国の制度事業、若者定住促進緊急プロジェクト、山間地域農村活性化総合整備事業、農業構造改善事業などの補助事業で、国・県費が30%、地方債64%、村の一般的財源6%で、村の過疎対策として事業がなされた。

川場村では、農業を中心とした地場産業をおこし、田園や自然環境に相応した地域住宅づくり、村の核づくりなどに重点をおきながら成熟した村づくりを進めている。こうした一連の中で若者を中心とした就業機会を増やし、定住、Uターンなどを推進し、地場産品の開発・PRを進め、利用者との飲食や買い回り品、その他ニーズに応えるとともに、村内消費の拡大をはかる。

行政と住民と一丸となって取り組んでいた。

産業建設常任委員会



田園プラザかわば



町の活力!

かんぱる団体

全国大会 2年連続出場!

上志比子ども吟舞クラブ

今回、取材をお願いしたのは「上志比子ども吟舞クラブ」です。部員は小学1年生から中学1年生で、男子2名、女子8名の計10名が在籍。毎週金曜日の午後7時から、上志比サンサンホールで約2時間ほどの練習をしています。

子ども達を指導しているのは、真舞流吟舞道会師範の南部敬子さん。南部先生は、四十代から吟舞を始め、4年前に定年退職されたのを機に、子ども吟舞を創部し子ども達の指導にあたっています。

吟舞とは、詩吟に合わせて踊り、刀や扇を使って詩吟の世界を表現する舞のことで、刀を使う「剣舞」と扇だけを使う「詩舞」に分かれます。例えば剣舞の場合、相手が向ってくるのを受ける感じで、それを想定しながら舞っているそうです。

南部先生に吟舞の難しい点をたずねると、「体勢を低くするのが大変。腰を入れ、上半身を動かさずに下半身だけで体重移動したりするのがけっこう難しいです。」と教えてくださいました。



取材当日、練習前に胴衣と袴に着替え、脇差しを差し真剣な面持ちで練習に臨む子ども達。一旦、練習が始まると、南部先生からの熱の込もった指導が入り、子ども達もきびきびとした動作で先生の指導に応えていました。

その甲斐もあり昨年度は、幼年の部で1名が北陸大会で優勝し、全国大会でも優勝!!今年度は、幼年の部・少年の部で、1名ずつが北陸大会で優勝し、全国大会に出場。少年の部で準優勝されました。

日頃の厳しい練習に耐え、見事な成績を修めている子ども達。その練習風景を見ていた私は、吟舞という日本の伝統文化の素晴らしさ、そして継承していく大切さを教えられました。今後も上志比子ども吟舞クラブの子ども達の活躍を期待します。

(楽間 記)



編集者のびと

今年も恒例の大掃除。

私は今回初めて大掃除に参加。議会関係の議場、議会室を各議員で分担し、慣れない手つきで雑巾がけなどの清掃作業を実施。中には掃除機の達人も現れ、みるみる作業が進み、一年の汚れもきれいさっぱり。普段は目に付かない所も、大掃除できれいに。



私たちも日常での幅広い視野でちよっとした心配りを大切に考えます。(江守 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 長岡 千恵子
副委員長 楽間 薫

発行責任者

江守 勲・上田 誠
金元 直栄・中村 勘太郎